

日本ラカン協会第19回大会

開催日時：2019年12月8日（日）10:00～18:30

場所：専修大学神田校舎7号館731教室（3F）

（〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8）

交通：営団地下鉄・神保町駅 徒歩3分

大会参加費：無料

1. 研究発表 10:00～12:00（発表時間30分 質疑応答15分）

10:00～10:45 森 綾子（護国寺こころの森相談室）

「ふつうの精神病」の一症例

司会：牧瀬 英幹（中部大学）

概要：発表者は、離人感や「取り返しのつかないこと」をしてしまったと訴える、あるサラリーマンと面接を行った。この主体の言う「取り返しのつかないこと」は必ずしも明確ではなく、それを巡って面接が進んだ。そしてそれが同定されるに至った時点で、この主体の構造について明確に捉えることができるようになったと考える。この「ふつうの精神病 psychose ordinaire」の症例報告を通して、このような主体のあり方について考えてみたい。

*この発表に関しましては、個別的なケースに関わる報告が予定されておりますため、聴講者の皆様には、守秘義務が発生しますことをご理解いただき、その遵守をお願い申し上げます。

11:00～11:45 上尾 真道（京都大学人文科学研究所）

フロイト的ダイモーンの二つの相貌——1910年代神経症論の再訪

司会：佐藤 朋子（金沢大学）

概要：本発表では主に1910年代までのフロイトの神経症論の再検討を行う。とりわけ転移神経症とナルシス神経症の差異および関係をめぐってフロイトが繰り広げた思考の図式を整理した上で、これをフロイトが当時没頭した進化論的思弁との関連のもとに考察したい。加えて、フロイトにおいてすでに開かれたこの論点が、その後の精神分析と哲学（特にフランス哲学）の思想的交流に反映されている仕方についても、ひとつの視点を提示することを目指したい。

2. 昼休み 12:00～13:30

*この時間に理事会が開催されますので、理事の皆様はご参集下さい。

3. 総会 13:30～14:15

- ①議長選出
- ②会務報告 論集刊行に関する報告など
- ③決算（2018/2019年度）審議
- ④予算（2019/2020年度）審議
- ⑤次年度活動計画について

4. シンポジウム 14:30～18:30

詳細は別紙をご参照下さい。

*尚、大会終了後、有志による懇親会を予定しております。
お時間に余裕のある方は、ぜひご参加下さい。

以上